

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06206
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開講場所 (キャンパス・施設)	広島キャンパス
2. 科目名	生命科学 ～地域・社会への還元～		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	荻田 信二郎・生命環境学部 生命科学科 教授 齋藤 靖和・生命環境学部 生命科学科 教授 松崎 秀紀・生命環境学部 生命科学科 助教 (講義担当順)		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	2019年7月27日(土) 9時00分～10時00分(荻田) 10時10分～11時10分(齋藤) 11時20分～12時20分(松崎) (60分×3回)		
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /
5. 募集定員	30人		
6. 科目内容・授業計画	<p>【授業の目的】 生命現象や生体機能の解明と応用は、医薬、医療、健康など多くの分野において私たちに大きく貢献する力をもっています。本講座では、生命活動のしくみや生命機能の解明について最新の知見を分かりやすく紹介することで、生命科学がどのように地域・社会に役立つのかを理解・意識できるようになることを目的としています。 キーワード：植物細胞、地域貢献、化粧品、老化、タンパク質、細胞情報伝達</p> <p>【科目概要】 1. 植物の機能とその活用について(担当：荻田) 私たちの衣食住には植物資源が欠かせません。本講義では植物の組織構造と生長制御について概説すると共に、その生長制御が実際どのような場面で役立っているのかを事例を交えて紹介します。 2. 活性酸素に着目した化粧品、抗老化研究(担当：齋藤) 活性酸素は紫外線などの外部刺激だけでなく私たちの体内でも常に発生しており、核酸、タンパク質、脂質などを酸化することで様々な病気や老化に関わるストレス分子です。本講座では、活性酸素の制御に着目した化粧品素材開発や抗老化研究などについて紹介します。 3. 細胞の働きを調節する仕組みの研究(担当：松崎) 私たちの体を構成する細胞は、環境の変化や体内で産生されるホルモンなどの様々な細胞外刺激を受け、その働きを調節することで体全体の調和を維持しており、調節機構の異常は様々な疾患を引き起こします。本講座では、細胞の働きを調節する仕組みとその研究などを紹介します。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり	① 最少開講人数(5人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月12日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月13日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 生命科学科 HP の内容を事前にご覧ください。 http://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/lifescience/		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。